

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有の債券並びに子会社及び関連株式会社以外の有価証券

時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算出)

時価のないもの…移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、期末自己都合退職金要支給額の73.55%に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりである。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	2,213,401,702	305,101,978	350,346,402	2,168,157,278
定期預金	0	0	0	0
普通預金	42,404,604	0	42,310,347	94,257
小 計	2,255,806,306	305,101,978	392,656,749	2,168,251,535
特定資産				
退職給付引当資産	12,299,300	1,431,300	0	13,730,600
合 計	2,268,105,606	306,533,278	392,656,749	2,181,982,135

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当 額)	(うち一般正味財 産からの充当 額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
有価証券	2,168,157,278	(2,168,157,278)	—	—
定期預金	0	0	—	—
普通預金	94,257	(94,257)	—	—
小 計	2,168,251,535	(2,168,251,535)	—	—
特定資産	0			
退職給付引当資産	13,730,600	—	—	13,730,600
合 計	2,181,982,135	(2,168,251,535)	—	13,730,600

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	298,055	57,204	240,851

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

該当なし

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

(単位 円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
公益法人助成事業	(一財)日本宝くじ協会	0	19,800,000	19,800,000	0	—
合 計		0	19,800,000	19,800,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳
 (単位 円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
投資有価証券の振替額	34,731,000
合 計	34,731,000